

4. 学校研究

1. 研究主題

『生き生きと学校生活をおくり、心豊かでたくましい生徒の育成』

— 家庭・地域と連携し、豊かな心を育み、お互いを高めあえる集団をめざして—

2. 研究の歩み及び今年度の方向性

これまでの本校における過去10年の研究経緯は以下の通りである。

◇平成14年度から、道徳教育と実践の相互の関連を高めること（相乗作用）をねらいとした研究
※文部科学省指定 平成16・17年度『児童生徒の心に響く道徳教育推進事業』

◇平成20年度から、道徳教育を基軸とした基礎的な力を基盤としながらも、各教科での基礎的な知識・技能を育て、それを活用する力を育てる授業のデザイン
※石川県教育委員会指定 平成20・21年度『児童生徒の「活用力」向上モデル事業』の推進校

◇平成22年度は、2年間の研究成果を評価され、地域への「活用力」拡大・推進を目的とした研究
※石川県教育委員会指定 『「活用力向上パイロット事業」パイロット校』

◇平成23年度から、新学習指導要領の導入を見据え、「教科」のみならず、「道徳」「特別活動」「総合的な学習の時間」の各領域及び「ICT活用」を模索・検討する研究

上記までの指定研究における研究推進や、一昨年度より導入となった新学習指導要領にむけての対応を含めた学校研究により、本校においては一定の成果をあげることができたと考える。そして、昨年度からの学校研究については、学校長の「学校経営ビジョン」の下、「道徳教育」及び「キャリア教育」を基軸としながら、『知・徳・体』がバランスよく育まれる教育活動を図っていくために研究をすすめてきた。

今年度は、「学校経営ビジョン」に掲げられる「学校経営の基盤に『心の教育』を置き、計画的、系統的、継続的な取り組みを行い、師弟同行の姿勢で、心豊かでたくましい生徒を育成する」ことを最重点目標とし、「いしかわ道徳教育推進事業」の委託も受け、心の教育の中核に道徳教育を据え、地域教材の活用による道徳教育の充実と家庭・地域との連携を深め、豊かな人間性とコミュニケーション能力の育成を図るために、研究主題及び副題を標記のように設定して、学校全体としてすすめていきたい。あわせて、3領域の授業実践や体験活動を通して、自己の能力や適性を自覚させ、自己実現できるキャリア教育の充実もさらに図っていきたい。

研究の推進にあたっては、健やかな子どもたちの育成や、われわれ教職員の力量を高めるために必要な【研修】を積んでいくことを主としながら、次に示す『4つの柱』を軸にすすめていきたいと考えている。各柱の担当者を中心としながら、学年会、教科部会、他分掌部会などとの連携を図りながら、主題（副題）の具現化を図り、教職員全体として今後「活きる学校研究」となるように、[共通理解<共通認識<共通行動]を通して、研究の推進を行っていきたい。

3. 研究の柱と概要 ※は「いしかわ学びの指針12か条」との関連

(1) 道徳教育推進・授業実践 〈道徳の時間を基軸にした「心の教育」に関する推進〉

①教育課程全体にかかわる道徳教育に関する推進を行う。なお、その実践にあたっては、『恕』の心を持った生きる力のある生徒の育成に努める。

②「月別心のテーマ」にもとづき24の内容項目を配置した年間指導計画に準じ、各学年各クラス共通資料実施を含め確かな実践を行う。 指針2条・5条

- ③既存資料やいしかわ版道徳教材「ふるさとがはぐくむ 道徳いしかわ」の活用および新規資料の開発を各学年担当者会で検討し、その実践を通して「心の教育」の推進を図る。
- ④授業研究を図るため、学年ごとの研究授業に際しては事前授業を実施する。 指針11条
- ⑤体験活動と道徳の関連を図った授業やゲストティーチャーの活用や保護者参加型の授業、「私たちの道徳」を利用した授業を行うなど道徳の授業の充実を図る。

(2) キャリア教育推進（教育過程全体に関わるキャリア教育・系統的な進路学習の推進）

- ①教育過程全体にわたってキャリア教育の視点を持ち、自己の能力や適性を自覚させるとともに、教科・領域（体験活動を含む）等で得た力を今後の「自己啓発」「自己実現」につなげられるような有意義な進路指導の充実を図る。

※キャリア教育…望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身につけさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育

- ②各学年実施の進路学習が系統的な実践となるように現状を把握しまとめる。
- ③趣旨を踏まえた実践となるように「総合的な学習の時間」「学級活動」との連携を図る。

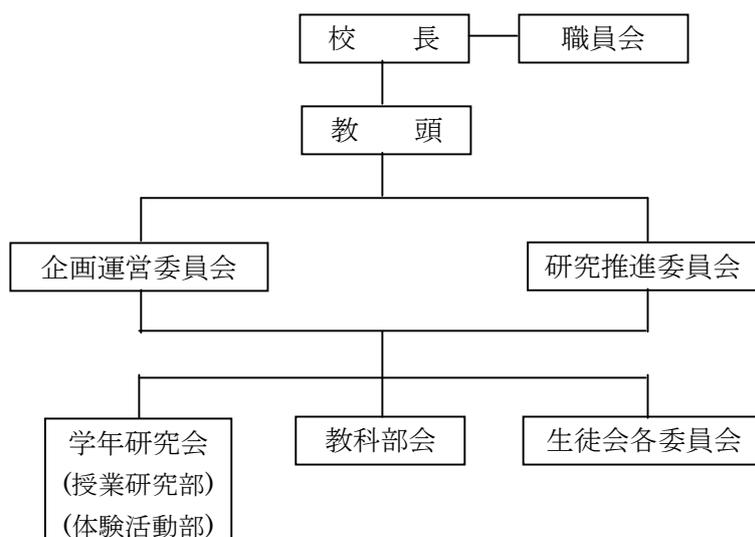
(3) 「総合的な学習の時間」運営・推進（キャリア教育との関連及び体験・探究的な活動の運営・推進）

- ①教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習、探究的な活動となるように「総合的な学習の時間」の内容の充実を図る。
- ②キャリア教育との関連させ、体験的な活動の充実が図れるようにする。
- ③「総合的な学習の時間」の評価についての検討を行う。 ※教務部と連携

(4) 「学級活動」運営・推進（キャリア教育との関連及びクラス会議の運営・推進）

- ①17の内容を配置した年間指導計画にもとづく適切な実践を行う。
- ②内容(3)の充実を図り、キャリア教育を促進する。
- ③内容(1)にかかわる「クラス討議（熟議を通して集団決定）」の取り組みの充実を図る。
- ④授業研究を図るため、学年ごとの研究授業に際して事前授業を実施する。 指針11条

4. 研究組織



5. 年間計画

	校 内 研 究	学 年 会	教 科 部 会	生徒会・学年委員会
4月	●研究の方針 年間計画	学年目標・年間計画	教科指導重点目標 教科別単元担当表作成	前期委員会組織 生徒会・部活動紹介
5月	●校内研修会①	道徳・学活・総合検討		生徒総会 陸上競技大会激励会
6月	●授業交流週間		●教科部会 (教科指導案検討)	加賀地区大会激励会 キャプテン交流会
7月	●計画訪問 ●校内研修会② ※講師招聘「道徳」		教科授業参観・協議会	運動会討議 運動会団抽選・結団式
8月	●校内研修会③ ※指導案づくり	道徳指導案検討		ボランティアチャレンジ
9月	●要請訪問（道徳）			運動会 後期生徒会役員選挙 新人大会激励会
10月	●NOMI りんぐ (人と地域をいかした道徳講座) ●授業交流週間	●研究授業 ※全学年：道徳	●教科部会 (後期授業にむけて)	後期委員会組織 文化祭 合唱コンクール
11月	●生徒指導主事訪問 ●校内研修会④			学校保健委員会 校内清掃ボランティア
12月	●校内研修会⑤ ※講師招聘「道徳」			
1月	●NOMI ばんぶー			
2月	●授業交流週間 ●校内研修会⑥	授業交流 今年度のまとめ	授業交流 今年度のまとめ	生徒総会 ひな弁当ボランティア 前期生徒会役員選挙 辰中へ行こう
3月	●来年度にむけて	来年度にむけて	来年度にむけて	卒業生を送る会